



2026年6月30日

各位

会社名 株式会社ワカ製作所
代表者名 代表取締役社長 若林 佳之助
(コード：6527、Tokyo Pro Market)
問合せ先 取締役管理部長 山口 哲哉
(TEL. 03-6635-5410)

東京証券取引所 TOKYO PRO Market への上場目的の開示

株式会社東京証券取引所が2026年4月3日付で公表した「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」に基づき、当社のTOKYO PRO Market への上場目的及びその実現状況について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は、2023年6月2日付で株式会社東京証券取引所が運営するTOKYO PRO Market に上場いたしました。当社は、上場を通じ、以下の目的の実現を目指しております。

(1) 社内体制及び内部管理体制の強化

当社は、社内体制、内部管理体制及び開示体制の整備・運用を推進しております。

TOKYO PRO Market 上場を通じて、業務の効率性を意識した社内体制の構築を進めるとともに、コーポレート・ガバナンスの強化や内部管理体制の高度化、適時開示体制及びIR体制の更なる充実に取り組んでおります。これにより、経営の透明性及び信頼性の向上を図っております。

(2) 事業領域の拡大

当社は、高周波事業を主軸とし、最高145GHzまで対応可能な高周波同軸コネクタ・ケーブル・コンポーネント等の開発・製造を行っております。高度な専門性を有した設計技術と超精密加工技術、卓越した組立加工技術により実現される高精度かつ高信頼性の製品を強みとしております。今後も先進技術の開発に取り組むとともに、TOKYO PRO Market 上場による認知度及び信用力の向上、並びに経営の透明性確保を通じて、顧客・取引先からの信頼獲得を一層強化し、競争優位性の確立を図ってまいります。また、当該優位性を基盤として、業務提携やM&A等を通じた事業領域の拡大を推進し、競合他社との差別化を進めることで、新たなビジネス機会の創出につなげてまいります。

(3) 優秀な人材の確保

当社は、上場企業としての信用力向上を背景に採用力の強化を図り、優秀な人材の継続的な確保及び定着を通じて、品質・信頼性の向上及び事業領域の拡大を支える組織体制の強化を推進してまいります。

これらの取組みを通じて、当社は中期的な連続増益の実現による持続的な成長を目指すとともに、営業利益1億円超の達成を一つの目標としております。今後は、事業拡大と収益力の向上の両立を図りながら、安定的な成長基盤の構築に努めてまいります。

2. 上場目的の実現状況

当社は、上記の上場目的の実現に向けて以下の取組みを進めており、現時点における実現状況は次のとおりです。

(1) 経営基盤及び内部管理体制の強化

当社は、上場之际に執行役員制度を導入するなど、経営体制の強化を図ってまいりました。これにより、経営判断と業務執行の役割分担を明確化し、特定の人物に依存しない経営体制の構築を進めております。また、上場後は内部統制の構築・運用、取締役会・監査役・内部監査室等の各機関の適切な運営に加え、適時開示体制及びIR体制の整備を継続的に推進しております。これに加え、業務プロセスの見直しや権限・責任の明確化を通じて、効率的な社内体制の整備にも取り組んでおります。

(2) 事業領域の拡大

当社は、上場後、一定期間においては業績が伸び悩む局面もありましたが、足元では改善の兆しが明確になってきております。また、TOKYO PRO Market 上場による信用力及び認知度の向上を背景に、顧客との取引関係の深化が進んでおります。2024年11月14日付で日本航空電子工業株式会社との業務提携を公表しており、同社との協業を通じて、海外への販路の拡大が期待されております。これらの取組みにより、当社の競争力は徐々に向上しており、新たなビジネス機会の創出及び事業領域の拡大につながっているものと認識しております。

(3) 優秀な人材の確保

上場後、人員の拡充が着実に進展しております。東証プライム上場企業出身者3名を含む10名を採用、15年ぶりの新卒採用も実施いたしました。上場に伴うブランド力の向上は、採用市場における当社の認知度向上及び応募者層の拡大に寄与しているものと認識しております。今後も中長期的に組織規模の拡大を図るとともに、人材基盤の強化を通じて、サービス品質の向上及び事業領域の更なる拡大を推進してまいります。

なお、当社の業績は、上場後一時的に伸び悩む局面があったものの、2025年9月期において営業利益24百万円を計上し黒字転換を達成しております。さらに、2026年9月期中間期においては営業利益55百万円となっており、収益力は着実に改善しております。

3. 一般市場への上場について

当社は、現時点においてはTOKYO PRO Marketの活用を通じた事業拡大及び経営基盤の強化を優先しており、一般市場への上場については中長期的な選択肢の一つとして認識しております。なお、具体的な上場時期・市場区分等については未定であり、今後の事業環境や成長戦略等を踏まえながら検討してまいります。

4. 今後の取組み

当社は、上記の上場目的の実現に向けた取組みを継続するとともに、コーポレート・ガバナンス及び内部管理体制の更なる強化、適時かつ適切な情報開示及びIR体制の充実に努めてまいります。また、上場目的の実現状況については、今後も年1回以上の頻度で評価・開示を行ってまいります。

なお、本資料に記載された内容は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の今後について確約するものではありません。

以 上